

ぐんまこどもの国児童会館

ニコット通信

nicotto tsu-sin!



ニコットちゃん

2024.4.15
第85号

発行/公益財団法人群馬県児童健全育成事業団

第7回 ボランティアまつり



ボランティア大集合!

5月5日(日)~11日(土)の1週間 こどもまんなか 児童福祉週間

すきなこと どんどんふやして おおきくなあれ

かとう ともやす
加藤 共泰さん(香川県 6歳)の作品



すべてのこどもたちが家庭や地域において、豊かな愛情に包まれながら、夢と希望をもって、未来の担い手として、個性豊かに、たくましく育っていきけるような環境・社会を作っていくことが大切です。こどもの最善の利益を第一に考え、「こどもまんなか社会」の実現に向け、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「こどもまんなか 児童福祉週間」と定めています。この期間中、こどもの健やかな成長、こどもや家庭を取り巻く環境について、国民全体で考えることを目的に、様々な事業や行事が行われます。当館でも、その趣旨に基づいた関連行事を行いますので、詳しくはHP等をご確認ください。

ゴールデンウィーク企画

「グッド・トイであそんでみよう!」

グッド・トイとは、子どもたちの健やかな成長を手助けするよいおもちゃのことです。全国のおもちゃコンサルタントがこれまでに選定したグッド・トイが大集合します。たくさんのおもちゃがみなさんをお待ちしています!

日にち 4月27日(土)~5月6日(月) GOOD TOY

時 9:30~12:00 (受付は各回終了15分前まで)
間 13:30~16:30

※4/27(土)は午後から開催、4/30(火)は休館日

会場 2階 多目的ホール

参加費 無料

対象 どなたでも(未就学児は保護者同伴)

定員 100名(随時定員まで受け入れ)

協力 東京おもちゃ美術館



休館日	4月 8日(月)・9日(火)・15日(月)・22日(月)・30日(火)
	5月 7日(火)・13日(月)・20日(月)・27日(月)
	6月 3日(月)・10日(月)・11日(火)・17日(月)・24日(月)



こどもわくわく劇場 夢適ヒーロー大集合!

地域で活躍するアクションチームによるヒーローショーです。「風天狗リュウマイン」をはじめ様々なローカルヒーローが集結します。こどもの日の思い出にぜひご観覧ください。



日にち 5月5日(日) 時 ①12:00~13:00
②14:00~15:00

会場 公園 野外ステージ(荒天時:3階研修室)

対象 どなたでも(未就学児は保護者同伴)

定員 荒天時のみ各回150名

出演 TMCワイルド



ぐんまこどもの国児童会館
〒373-0054 群馬県太田市長手町480
TEL: 0276(25)0055 FAX: 0276(25)0059
HP: https://kodomonokuni.or.jp
X(旧Twitter): @nicottochan5

わくわく号がゆく♪



ぐんまこどもの国児童会館では、児童会館での様々な遊びを体験してもらおうと、わくわく号(プレーバス)で県内の児童館や公民館、子育て支援センターなどを訪れています。

★プレーバス巡回

対象団体 群馬県内の児童館・児童センター、放課後児童クラブ、児童養護施設、公民館、母親クラブ、子ども育成会等の児童健全育成を目的とした、参加予定人数が10名を超える団体 *学校、保育所、幼稚園、認定こども園は除く

受付期間 実施希望日の3ヶ月前から2ヶ月前まで (先着順)

プログラム	内 容	時 間	対 象	定 員	
造形あそび	造形あそび	身近な材料で、遊ぶおもちゃや季節感のある工作を行います。	60～90分	幼児、小学生 中学生	40人程度
	やきもの体験	白磁マグカップを専用いろがみ(転写紙)で飾ります。※1人400円	60～90分	幼児、小学生 中学生、親子	40人程度
	等身大のじぶん	自分の体の型を模造紙にとり、クレヨンやおはながみ等で飾ります。	60～90分	幼児、小学生 中学生、親子	20人程度
科学あそび	科学マジック	科学のふしぎな力を利用したマジックショーを行います。	30～60分	小学生 中学生	40人程度
	風船実験	ミニサイエンスショーの後、ペンシルバルーンロケットを作ります。	60～90分	小学生 中学生	30人程度
集団あそび	親子あそび	親子のふれあいあそびや体操・手遊び、パネルシアターなどを楽しみ、簡単な工作をします。	30～60分	乳幼児の親子	10～20組
	カプラ® であそぼう	カプラ®(白木の板)を積んでいろいろな作品を製作したり、ナイアガラやかまくらなどの共同製作をしたり崩したりして楽しめます。	60～90分	幼児、小学生、 中学生、親子	50～60人
	新聞紙あそび	「親子でちぎってまるめてポイっ！」親子と一緒に、新聞紙をいろいろな使い方であそびます。	40分	幼児から小学校 低学年の親子	10～20組
		「新聞紙で運動会！」新聞紙を使った玉入れなどのチーム対抗ゲームを行います。	60～90分	小学生 中学生	20～50人
水鉄砲であそぼう	水鉄砲を使つて的当て遊びや、チーム対抗ゲームを行います。※6月・9月限定	60分程度	小学生 中学生	40～60人	

★障がい児向けプログラム「にこっとGO！」

対象団体 群馬県内の放課後等デイサービス、障がい児を対象とした団体・施設 *学校、保育所、幼稚園、認定こども園は除く

受付期間 令和6年4月1日(月)～21日(日) *郵送の場合は、必着

プログラム	内 容
あそびサロン	手遊び・鑑賞(パネルシアター等)・簡単な工作を行います。
音のふしぎ	ストーリー仕立ての音当て遊びと楽器工作を行います。
カプラ®	カプラ®(白木の板)を積んだり崩したりして遊びます。
集団製作「ハンドスタンプアート」	みんなでハンドスタンプを押して、一つの作品を作ります。
チャレンジゲーム	ポッチャ等の簡単なゲームのチャレンジをします。

*プログラムは、全体で40～60分です。

*すべてのプログラムに、児童会館キャラクター「にこっとちゃん」との記念撮影・ふれあいタイムが含まれます。

★鑑賞事業・あそびの出前・移動プラネタリウム

**対象
団体**

群馬県内の児童館・児童センター、放課後児童クラブ、児童養護施設、公民館、母親クラブ、放課後等デイサービス、子ども育成会等の児童健全育成を目的とした団体 *学校、保育所、幼稚園、認定こども園は除く

**受付
期間**

令和6年4月1日（月）～21日（日） *郵送の場合は、必着

日付	プログラム	講師
令和6年 6月15日（土）	人形劇 他	人形劇団ぼっぷこ〜ん
令和6年 6月29日（土）	参加型劇 他	アクト☆やまと姫
令和6年 7月25日（木）	人形劇 他	ドレミ座
令和7年 2月 8日（土）	ヒーローショー	TMCワイルド
令和7年 3月 6日（木）	音楽活動 他	ドレミ♪音楽隊
令和6年 7月21日（日）	光る！どろだんごの色あそび	NPO法人 あそびの学校
令和6年 10月19日（土）		
令和6年 6月22日（土）	移動プラネタリウム	ぐんまこどもの国児童会館
令和6年 12月22日（日）		
令和7年 2月 1日（土）		
令和7年 3月 1日（土）		

●利用できる日 児童会館HP掲載の「移動児童館年間実施カレンダー」をご覧ください。

●利用時間 午前10時30分から午後4時まで

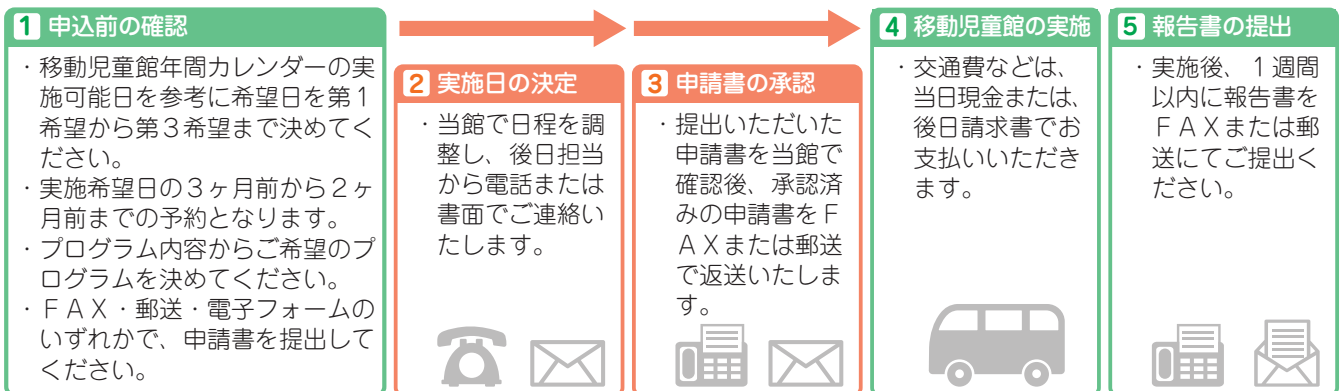
●費用 謝礼は不要ですが、交通費として下表のとおりご負担ください。

料金	市 町 村
1,000円	前橋市、桐生市、伊勢崎市、太田市、館林市、みどり市、佐波郡、邑楽郡
2,000円	高崎市、沼田市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、北群馬郡、多野郡、甘楽郡、吾妻郡、利根郡

*上記に加え、プログラムによっては別途実費がかかるものがあります。

また、会場使用料やチラシ、ポスター等PRに必要な費用はご負担いただきます。

●申込から実施までの流れ



*申請書・報告書は、児童会館HPよりダウンロードできます。

●その他

・夏休み・冬休み期間のプレーバス巡回については募集期間を設け、抽選とさせていただきます。

4月1日（月）～21日（日）に、申請書をFAX・郵送・電子フォームのいずれかで提出してください。

・移動児童館（プレーバス事業）の他、鑑賞事業や移動プラネタリウム等も含め、利用は1団体につき年間1回となります。

料理には科学の力がたくさん隠れている。
NPO法人「くらしとバイオプラザ21」にご協力いただき、バレンタインデーに合わせて、チョコ風味のカップケーキづくりと不思議な実験を行いました。

まずは、ケーキづくりです。卵をコンコン、パカッ。泡立て器をシャカシャカ。料理の大先輩である親御さんに手伝ってもらいながら、慣れないケーキづくりに一所懸命な子どもたち。

ケーキを焼いている間は、水と油を使った実験。初めて触る実験器具に、みんなの眼差しは真剣そのもの。小さな科学者達が誕生した瞬間でした。

「んー、いいにおい」。会場内に甘い香りが漂い始めます。すると、「とっても上手に焼きましたー!」。ふっくらと焼き上がった、できたてホヤホヤのおいしそうなチョコカップケーキに、思わず笑みがこぼれました。

料理に限らず、暮らしの中にはたくさんの科学の力が使われています。「どうして、こうなるの?」「もしかして科学の力が隠れている?」なんて思っただけいたら嬉しいかぎりです。



「こどもまんなか社会」ってどんな社会のことでしょうか?

2月18日(日)に、石巻市子どもセンターらいつ(以下、「らいつ」)の館長 荒木裕美さんをお迎えし、標記講演会を開催しました。

らいつは、東日本大震災発生後に「町のために何かをしたい!」という子どもたちの思いや願いを集めて市に提案し、児童館としてアイデアを実現した小型児童館です。講演では、らいつ設立の経緯と、らいつの中で子どもたちの声をどのように吸い上げて事業に反映しているのかを分かりやすく教えていただきました。

本事業は、対面のほか当館YouTubeチャンネル「にこっとちゃんねる」を用いて同時配信を行いました。県内だけでなく県外からの参加も多く、参加者アンケートに「もっと大人に『こどもまんなか社会』が広がっていったらいいと思う」という声があり、社会全体の関心ごとであると感じました。



第7回ボランティアまつり実施報告

ボランティアが一堂に会するボランティアまつりを今年度も開催しました。

オープニングではにこっとちゃん、おおたん、ぐんまちゃんが登場。みんなで「ミンナノグンマ CHANCE!」を踊りました。続けてボランティアがマジック、バルーン、腹話術を披露し、午後からは4種類の工作とポップコーン釣りをしました。3階研修室では少し難しい「ペットボトル風鈴」の工作と「ハンダ付けにチャレンジ～タッチON温度計～」を開催。1階ハイビジョンシアターでは読み聞かせ「おはなしのへや」で今回は子どもたちに事前アンケートをした絵本も読みました。

当日活動したボランティアとジュニアスタッフは44名。来場者は800名以上!盛りだくさんの1日となりました。



©群馬県 ぐんまちゃん

当館ホームページはこちら

当館の最新情報を掲載しています。ご来館前にぜひご覧ください。



にこっと通信バックナンバーはこちら

開館当初からの「ニュース」や「通信」のバックナンバーがご覧いただけます。

